選挙事務

（R4.9.26～10.4）

**（様式４）**

**提出期限：令和4年8月31日（水）12：00**

**提 出 先：y-suzuki@jamp.gr.jp（調査研究部　鈴木）**

**「主権者教育」に関するアンケート　※越智講師**

**～若い有権者から届いた苦情メール～**

　衆議院議員選挙が行われた平成29年10月22日に、投票所に足を運んだ若い有権者から、匿名の苦情メールが市民の声として選挙管理委員会に届きました。

　「最悪」という見出しがついていました。

先ほど選挙に行ってきました。母に行きなさいと言われたので行くと、周りはおじいちゃんおばあちゃんばかり。私はまだ投票の経験がそんなにありません。右も左も分からず、３枚も用紙を渡され、とりあえず名前を書いて投票しようとしたけど、投票箱の設置の仕方が悪すぎるのと、スタッフ？おじさん達？は沢山いるのに、そんなものも分からないのかよという対応。まじで腹が立ちました。来た若い子達には全員あの対応なんですね。一生来ません。投票しなくっちゃって思って来たのに。

　これからの日本にしっかり関わろうと、良い日本になるために自分の票を入れようとしたのに。もう一生投票はしません。東京都第●区。おじさん達ほんとうに最悪だった。

**あなたはこの苦情メールをどのように受止めますか。**

　この若い投稿者は、「投票所のスタッフの対応が悪いから、もう一生投票はしません。」と訴えていますが、本当の原因はそこではないように思えます。あなたがこの若者に寄り添って考えた時、こうした思いに至った原因はどこにあると思いますか。発想を巡らし、あなたの考えをお書きください。